

資料10

10-2 波多野歯科医院(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅から7分、入り口がわかりにくい
厚生省の許可証表示	掲示予定
主施設の研修プログラム	1年。2か月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	マンツーマンによる臨床研修を中心に
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(1名)
常勤衛生士数	10名
常勤技工士数	10名
一日平均患者数	100名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	月額7万円
支給日	月末
支給方法	—
控室・ロッカー	各自に貸与
白衣・院内履き	院内支給
ユニット数	13台
指導場所(研修室、会議室)	研修室および会議室で行う
教育設備、機器備品	スライド・ビデオ装置、ホワイトボード
その他の備品	教育に関する豊富なスライド
診療時間	9:00～19:00
研修時間	9:00～17:00
週休(年休)等	水、日曜(2日)
休暇届	要
社会保険	なし
時間外研修の実態	なし
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	出勤簿で確認
担当医の指導法	月ごとの目標を決めてマンツーマン指導
衛生士との連携	研修医の介助、補助あり
技工士への連携	指示は今のところなし
インフォームドコンセント	担当医が行う

資料10

カルテの記載	勉強会を行い、記入させている
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	ノートに記入する
一日平均担当患者数	20～25名(5名を自主診療)
診療内容	見学・自主診療
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	週1回の研修
技工研修	クラウンまでの技巧研修

診療所の全体評価

受付の雰囲気、対応も良く、診療室もゆとりがあり、大変よく整備されている。

指導医からの意見

大学の後輩なので温かくみている。目標を持たせてそれに到達できるように指導。4ヵ月で通り一辺倒のことは体験させたい。

研修医からの意見

充実した密度の濃い研修をさせてもらっている。6月抜歯(30本)、7月歯内療法、8月歯周病、9月形成をメインに研修している。

勉強をさせてもらっている感じがとてもあり、非常によくしてもらっている。

その他

分院大宮常勤2名、志木常勤4名

奨学金はもう少しだしてあげたい。

資料10

10-3 赤羽歯科医院(上尾)(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	地図がわかりにくい
厚生省の許可証表示	待合室に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2ヵ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	担当医による直接指導
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(2名)
常勤衛生士数	13名
常勤技工士数	0名
一日平均患者数	250名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	8名(年間)
奨学金支給額	月額5万円
支給日	月末
支給方法	—
控室・ロッカー	各自に貸与
白衣・院内履き	各自に支給
ユニット数	24台
指導場所(研修室、会議室)	会議室
教育設備、機器、備品	教育研修は赤羽で行うので、そちらに設置
その他の備品	赤羽にあり
診療時間	9:00~19:30、土曜日9:00~18:30
研修時間	9:00~17:00
週休(年休)等	土、日曜(2日)
休暇届	要
社会保険	なし
時間外研修の実態	なし
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	出勤簿にて確認(良好)
担当医の指導法	担当指導医による直接指導
衛生士との連携	研修医とは特になし
技工士への連携	指示書のみ
インフォームドコンセント	なし

資料10

カルテの記載	少しづつ記入させている
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	4～5名
診療内容	研修医の技術に合わせたもの
診療過誤の有無・対応	口唇をターピンで切り、2針縫合
院内研修会・講義	不参加
技工研修	なし

診療所の全体評価

歯科衛生士、歯科助手が多く、雑然とした感じであるが、雰囲気は良好。

指導医からの意見

4万円は少ないと思う。積極性・責任感・真剣さが欠けている。大学に残るための準備期間の雰囲気があり、指導に差がでてしまう。

研修医からの意見

(研修医A) 登院のイメージで研修にきたが、直接的な指導はなく、診療の任意見学で立っているだけの時間が多い。院長は親切であるが、その他の先生は何も教えてくれない。

(研修医B) 土日を研修にあてているので、いろいろな診療(埋伏抜歯、後出血処置、形成他)をさせてもらい、非常に勉強になっている。

その他

研修医Aは平日のみ研修で、指導医の予約患者の見学が主で診療行為そのものを多く経験していない。研修医Bは予約制でない土、日に常勤医と一緒に診療をやらせてもらっている。

資料10

10-4 川鉄千葉病院歯科口腔外科(主施設:千葉大学歯科口腔外科)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	JR蘇我駅(歩)5分
厚生省の許可証表示	病院入口に臨床研修医施設の旨表示
主施設の研修プログラム	2年(1年目:主8ヵ月従4ヵ月2年目:主のみ)
研修方法	一部複合方式
具体的目標設定	有病者歯科治療と外来小手術の習得
評価法	有病者歯科治療と外来小手術の習得
研修修了の認定	主・従の合同研修委員会
研修修了証の発行	2年修了時に教授名で発行
主施設に連携する従施設数	3施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	良好。医局員の派遣先である
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同研修委員会
研修指導歯科医師数	2名
常勤衛生士(非常勤)数	3名(1名)
常勤技工士(非常勤)数	0名(0名)
一日平均患者数診療所	47名病院全体で1,200名
総研修医数	3名(1期1名)
現時点での定員	1名×3期
最大受入可能研修医数	6名
奨学金支給額	月額215,800円
支給日	月末
支給方法	銀行振込
控室・ロッカー	机・ロッカーとも専用あり
白衣・院内履き	支給
ユニット数	4台。(内1台は観血処置専用)
指導場所(研修室、会議室)	会議室
教育設備、機器、備品	研修医用としての備品はまだ無い
その他の備品	今後、整備する予定
診療時間	9:00~17:00(土9:00~17:00)
研修時間	9:00~19:00勉強会の準備
週休(年休)等	1.5日(夏期休暇3日)
休暇届	なし
社会保険	なし
時間外研修の実態	主施設での発表会。月1回
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	なし
担当医の指導法	マンツーマン
衛生士との連携	良好
技工士への連携	指示票
インフォームドコンセント	指導医と行う

資料10

カルテの記載	指導医チェック
研修要項	独自のものは無し
研修医の記録日誌	毎日の治療内容
一日平均担当患者数	10名
診療内容	口腔外科関連が多い
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	医科との合同勉強会月1回、症例検討会月2回
技工研修	口腔外科関連の技工のみ

診療所の全体評価

口腔外科中心であるが一般歯科に対する指導医の努力がみられる。

指導医からの意見

- 我々は口腔外科出身（千葉大）なので補綴、保存の指導には苦勞している。
- 4月の研修期間は短い。

研修医からの意見

千葉大では口腔外科がほとんどであるが、こちらに来て一般歯科を勉強することができる。

その他

主施設の人数制限を緩和してほしい。当院としては単独方式を希望している。ただし研修医の就職先の問題があるため、考える必要がある。

- 医科病院の中で今後歯科研修医の立場はどうなるのか。
- 補助金は今年からのため、現在考慮中である。

資料10

10-5 東京警察病院(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	飯田橋駅から1分
厚生省の許可証表示	診療室に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2ヵ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	担当医による直接指導
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	2名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(1名)
常勤衛生士数	3名
常勤技工士数	4名
一日平均患者数	40名
総研修医数	2名(1期1名)
現時点での定員	1名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	月額4万円
支給日	15日
支給方法	振込み
控室・ロッカー	各自に貸与
白衣・院内履き	大学貸与のものを使用
ユニット数	6台
指導場所(研修室、会議室)	研修室および病院内会議室
教育設備、機器、備品	スライド映写機、シャーカステン
その他の備品	—
診療時間	9:00～15:30
研修時間	9:00～15:30
週休(年休)等	土、日曜(2日)
休暇届	不要
社会保険	なし
時間外研修の実態	なし
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	出席表で確認
担当医の指導法	マンツーマン指導
衛生士との連携	研修医の介助補助あり
技工士への連携	直接の指示はなし
インフォームドコンセント	なし

資料10

カルテの記載	担当医の指導のもとに行う
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	4名
診療内容	歯科全般にわたる見学と診療
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	抄読会、症例検討会
技工研修	なし

診療所の全体評価

スタッフは明るくはきはきしており、少し狭い感じを受けるが雰囲気は良好

指導医からの意見

大学での研修をもう少し臨床を行わせ、実践させた方がよい。
院外研修が修了した研修医に匿名アンケートを実施してほしい。

研修医からの意見

その他

資料10

10-6 宮田歯科大崎診療所(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅より2~3分
厚生省の許可証表示	受付に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2か月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	チェアサイドティーチングを主体
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(1名)
常勤衛生士数	14名
常勤技工士数	0名
一日平均患者数	80名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	月額4万円
支給日	月末
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	各自に貸与
白衣・院内履き	大学貸与のものを使用、院内履きは各自準備
ユニット数	19台
指導場所(研修室、会議室)	小児歯・予防診療室、医局、図書室
教育設備、機器、備品	本部にて一括保管。常時使用は困難
その他の備品	8:45~17:15
診療時間	9:00~18:00
研修時間	9:00~17:00
週休(年休)等	木、日曜
休暇届	不要
社会保険	なし
時間外研修の実態	原則としてなし。個人の自由にまかせている
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	出勤簿
担当医の指導法	マンツーマン。見学、チェアサイドティーチング主体
衛生士との連携	良好
技工士への連携	なし
インフォームドコンセント	なし。指導医が行う

資料10

カルテの記載	行わせている
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	なし
一日平均担当患者数	2名
診療内容	見学・介補主体
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	特別講義
技工研修	コア・咬合床作製程度

診療所の全体評価

オープンスペース、広々として動きやすい。

複合研修方式の主施設の特徴

特別養護ホームの研修あり。宿泊については不便なく快適。

主施設と連携する従施設の特徴

オーソドックスな診療を主体。予防歯は自費診療、小児歯にも対応。

その他

資料10

10-7 藤崎歯科医院(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅より1分、わかりやすい
厚生省の許可証表示	受付に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2カ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	担当医によるマンツーマン指導
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)従施設(1名)
常勤衛生士数	8名
常勤技工士数	4名
一日平均患者数	140名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	月額4万円
支給日	毎月10日
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	各自に貸与
白衣・院内履き	各自に支給
ユニット数	16台
指導場所(研修室、会議室)	チェアーサイド、研修室
教育設備、機器、備品	スライド映写機、シャーカステン、拡大模型など
その他の備品	なし
診療時間	10:00～19:00
研修時間	10:00～18:00
週休(年休)等	土、日曜(2日)
休暇届	要
社会保険	なし
時間外研修の実態	あり
アルバイト(残業)の取扱	超過時間をアルバイトで対処(時給2千円)
研修医の勤務状況の評価	出席表で確認
担当医の指導法	マンツーマン指導
衛生士との連携	研修医とともに介助、補助をする
技工士への連携	とくになし
インフォームドコンセント	担当医が直接行う

資料10

カルテの記載	担当医とともに行う
研修要項	主施設のものを使用
研修医の記録日誌	独自の日誌に記入
一日平均担当患者数	2～3名
診療内容	印象、インレー合着などの一般的な診療を行う
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	週1～2回の講義と症例検討会
技工研修	技巧研修あり

診療所の全体評価

オープンスペースでユニット数が多く、雑多な感がするが、人の流れを配慮してある。

指導医からの意見

2人ともまじめに研修を行っているが、1人の研修医は体調不良（診断書あり）のため、長期欠席

研修医からの意見

いろいろな診療をやらせてもらっている。

その他

資料10

10-8 松尾歯科医院(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅から徒歩5分、バスもあり
厚生省の許可証表示	受付に掲示してある
主施設の研修プログラム	1年。2カ月×5期に分け、1,2期、3,4期に出向
研修方法	担当医によるマンツーマン指導
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医批評、自己批評、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	4名
従施設への連携	院外研修担当委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114名)、従施設(2名)
常勤衛生士数	5名
常勤技工士数	1名
一日平均患者数	50名
総研修医数	4名(1期2名)
現時点での定員	2名
最大受入可能研修医数	4名(年間)
奨学金支給額	—
支給日	給料日
支給方法	現金支給
控室・ロッカー	医局と別にあり
白衣・院内履き	大学支給の白衣を使用
ユニット数	6台
指導場所(研修室、会議室)	医局で指導を行う
教育設備、機器、備品	口腔内撮影用カメラ、プロジェクター
その他の備品	輸入物機器多し
診療時間	10:00～18:30
研修時間	10:00～18:00
週休(年休)等	2日(木日)
休暇届	なし(月1回IDAに通っている)
社会保険	—
時間外研修の実態	あり、勉強会土曜日18:00～21:30
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	指導医が行う
担当医の指導法	マンツーマンにて指導医が指導
衛生士との連携	良好
技工士への連携	やることもあるが少ない
インフォームドコンセント	重点をおいている

資料10

カルテの記載	担当医が教えながら、少しずつ書かせている
研修要項	特になし
研修医の記録日誌	ノートに書いているが毎回ではない
一日平均担当患者数	0名
診療内容	CR、根治、TBI、窩洞形成など
診療過誤の有無・対応	なし
院内研修会・講義	あり、矯正、口腔外科
技工研修	なし

診療所の全体評価

臨床研修には熱心である

複合研修方式の主施設の特徴

日本歯科大学の歯科医師臨床研修プログラムに基づいて研修を行っている。

複合研修方式の従施設の特徴

指導医からの意見

指示まちが多いので、もっと積極的に。研修制度自体をもっと緻密に組み立てた方がよい。

研修医からの意見

意欲的に取り組める環境でよかったと思う。

その他

資料10

10-9 船木歯科診療所(主施設:日本歯科大学歯学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	京浜東北関内徒歩15分、桜木町タクシー5分
厚生省の許可証表示	医員研修室に掲示
主施設の研修プログラム	1年。2ヵ月×5期に分け、1、2期、3、4期に出向
研修方法	担当医によるマンツーマン指導
具体的目標設定	主施設の目標に準ずる
評価法	指導医評価、自己評価、3段階評価
研修修了の認定	主施設運営委員会にて認定
研修修了証の発行	主施設病院長名にて発行
主施設に連携する従施設数	16施設
従施設への派遣研修医数	12名
従施設への連携	院外研修担当者委員会・他
運営委員会・指導医委員会	主・従の合同指導医委員会、年3回開催
研修指導歯科医師数	主施設(114)従施設(3名)
常勤衛生士数	26名
常勤技工士数	14名
一日平均患者数	270名
総研修医数	12名(1期6名)
現時点での定員	6名
最大受入可能研修医数	12名(年間)
奨学金支給額	—
支給日	月末
支給方法	振込み
控室・ロッカー	各自に専用ロッカーあり
白衣・院内履き	白衣・院内履き・名札を使用
ユニット数	25台
指導場所(研修室、会議室)	研修室
教育設備、機器、備品	スライド、シャーカステン、説明用模型
その他の備品	特になし
診療時間	9:30~18:00
研修時間	9:30~17:00
週休(年休)等	2日
休暇届	なし(休暇は必要に応じて許可)
社会保険	—
時間外研修の実態	担当医と研修医との必要に応じて行う
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	出勤簿への捺印
担当医の指導法	初診時の診査・診断から治療計画を立案と見学
衛生士との連携	担当医と衛生士の補助
技工士へとの連携	必要に応じて指示
インフォームドコンセント	指導医による説明と実地見学

資料10

カルテの記載	記載していない
研修要項	特になし
研修医の記録日誌	特になし
一日平均担当患者数	15から20名
診療内容	指導医が診療するのを見学する
診療過誤の有無・対応	現在までなし
院内研修会・講義	年間計画による研修と必要に応じた講義
技工研修	技工研修なし

診療所の全体評価

理想的な診療環境とスタッフがそろっている。

複合研修方式の主施設の特徴

日本歯科大学の歯科医師臨床研修プログラムに基づいて研修を行っている。

主施設と連携する従施設の特徴

臨床研修での疑問に対して指導を行っており、研修医全員が臨床研修に積極的に取り組んでいる。

指導医からの意見

全員、臨床研修に積極的に取り組み、期待以上の成果をあげている。

研修医からの意見

臨床研修での疑問に優しく教えてくれる。スタッフとの会議が楽しい。

その他

なし

資料10

10-10 高山赤十字病院(主施設:岐阜大学医学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	駅から徒歩5分(海拔670m)
厚生省の許可証表示	診療室に掲示
主施設の研修プログラム	岐阜大のプログラムあり
研修方法	到達目標にしたがって行う
具体的目標設定	別紙にあり
評価法	主従として別々に評価
研修修了の認定	4か月の修了証をだしている
研修修了証の発行	あり
主施設に連携する従施設数	1施設
従施設への派遣研修医数	1名
従施設への連携	あり
運営委員会・指導医委員会	年1回春に行う
研修指導歯科医師数	従施設2名
常勤衛生士数	1名看護婦1名
常勤技工士数	1名
一日平均患者数	36名(口外外来)入院4名(ベッド5床)
総研修医数	3名
現時点での定員	1名(4か月交代)
最大受入可能研修医数	2名
奨学金支給額	月額28万8千円
支給日	月に一度
支給方法	振込み
控室・ロッカー	医局あり
白衣・院内履き	病院支給
ユニット数	4台
指導場所(研修室、会議室)	あり
教育設備、機器、備品	コンピューター、コピー機あり
その他の備品	スライド映写機ほか
診療時間	8:30~5:10
研修時間	8:00~5:10
週休(年休)等	2日(土日)
休暇届	院長許可であり(担当指導医が許可)
社会保険	4か月間社保
時間外研修の実態	時間外に病棟処置あり
アルバイト(残業)の取扱	なし
研修医の勤務状況の評価	担当指導医が行っている
担当医の指導法	指導医とペアでその都度診療室内で行う
衛生士との連携	ブラッシング指導等連携可能
技工士への連携	インレー等の指示書を行う
インフォームドコンセント	歯科的なことは説明させる

資料10

カルテの記載	自分で行えるように指導
研修要項	行わせている
研修医の記録日誌	記録していない
一日平均担当患者数	5～8名
診療内容	自費以外の簡単な処置(現在は一人で行う)
診療過誤の有無・対応	なし(大学から伝麻はさせないように通達)
院内研修会・講義	水金に勉強会
技工研修	あり総義歯、部分床義歯1症例行う

診療所の全体評価

一般臨床・口腔外科の2本だてで臨床を行っており、指導医の歯科臨床に対する熱意が感じられた。

複合研修方式の主施設の特徴

岐阜大学口腔外科にて研修
2年制をとっている。

主施設と連携する従施設の特徴

紹介率25-26%、職員の家族、入院患者が多い。
一般臨床と外科(骨折、顎変形症、悪性腫瘍)
論文1編、発表1回を行うように研修医に指導

資料10

10-11 国保関が原病院(主施設:岐阜大学医学部附属病院)

視察項目	コメント
交通(案内図)の便利性	関ヶ原駅から徒歩15分
厚生省の許可証表示	診療室に掲示なし
主施設の研修プログラム	岐阜大のプログラムあり
研修方法	到達目標にしたがって行う予定
具体的目標設定	予定ではあり
評価法	研修医をまだ受け入れたことないため不明
研修修了の認定	研修医がきた場合修了証はだす予定
研修修了証の発行	予定ではあり
主施設に連携する従施設数	2施設
従施設への派遣研修医数	1名の予定
従施設への連携	あり
運営委員会・指導医委員会	同門研修会があり
研修指導歯科医師数	従施設2名
常勤衛生士数	4名看護婦0名
常勤技工士数	1名
一日平均患者数	40名(2人で1日40人前後)
総研修医数	0名
現時点での定員	0名
最大受入可能研修医数	1名の予定
奨学金支給額	1日8,973円の予定
支給日	月に一度
支給方法	振込予定
控室・ロッカー	まだ受け入れていないため不明
白衣・院内履き	まだ受け入れていないため不明
ユニット数	4台
指導場所(研修室、会議室)	会議室あり
教育設備、機器、備品	コンピューター、コピー機あり
その他の備品	スライド映写器ほか
診療時間	9:00~5:00
研修時間	9:00~5:00
週休(年休)等	2日(水午後、土午後、日祭日)
休暇届	研修医まだ受け入れていないため不明
社会保険	研修医まだ受け入れていないため不明
時間外研修の実態	研修医まだ受け入れていないため不明
アルバイト(残業)の取扱	地方公務員のため行えず
研修医の勤務状況の評価	研修医まだ受け入れていないため不明
担当医の指導法	研修医まだ受け入れていないため不明
衛生士との連携	研修医まだ受け入れていないため不明
技工士へとの連携	研修医まだ受け入れていないため不明
インフォームドコンセント	研修医まだ受け入れていないため不明

資料10

カルテの記載	研修医まだ受け入れていないため不明
研修要項	記録していない
研修医の記録日誌	研修医まだ受け入れていないため不明
一日平均担当患者数	研修医まだ受け入れていないため不明
診療内容	研修医まだ受け入れていないため不明
診療過誤の有無・対応	研修医まだ受け入れていないため不明
院内研修会・講義	研修医まだ受け入れていないため不明
技工研修	研修医まだ受け入れていないため不明

診療所の全体評価

まだ研修医を受け入れてはいないので施設の評価は行えず

複合研修方式の主施設の特徴

岐阜大学口腔外科にて研修

主施設と連携する従施設の特徴

病院の体力がなく研修医を受入れられない現状
関ヶ原町人口9600名（歯科医院は3件）
条件をみたすため施設申請はしたが運営せず

その他

岐阜大学岡名誉教授が月2回診療にきている
歯科は不採算部門